

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第21期第3四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	アクセルマーク株式会社
【英訳名】	AXEL MARK INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 尾下 順治
【本店の所在の場所】	東京都中野区本町一丁目32番2号
【電話番号】	03 - 5354 - 3351
【事務連絡者氏名】	管理部門担当取締役 渡邊 祐也
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区本町一丁目32番2号
【電話番号】	03 - 5354 - 3351
【事務連絡者氏名】	管理部門担当取締役 渡邊 祐也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第3四半期 連結累計期間	第21期 第3四半期 連結累計期間	第20期
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成24年 6月30日	自平成24年 10月1日 至平成25年 6月30日	自平成23年 10月1日 至平成24年 9月30日
売上高 (千円)	2,877,823	2,573,305	3,888,566
経常利益 (千円)	228,167	30,943	228,065
四半期(当期)純利益 (千円)	193,672	21,382	190,369
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	193,672	21,382	190,369
純資産額 (千円)	1,541,305	1,516,558	1,494,986
総資産額 (千円)	2,043,712	1,876,992	1,974,892
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	43.32	4.89	42.64
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	43.21	4.87	42.55
自己資本比率 (%)	75.4	80.8	75.7

回次	第20期 第3四半期 連結会計期間	第21期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.39	8.35

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は、平成25年4月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、スマートフォンの保有率が平成24年11月の39.1%から平成25年2月には45.6%となっており、今後もさらに普及拡大するものと予想されております（出所：「全国スマートフォンユーザー1,000人定期調査」博報堂DYグループ・スマートデバイスビジネスセンター）。また、ゲーム関連市場については、平成24年度のソーシャルゲーム市場規模が4,351億円（前年比169%増）、スマートフォンゲーム市場が1,285億円（平成24年度より調査開始）となっており、特にスマートフォンゲーム市場が急速に成長しております（出所：「オンラインゲーム市場調査レポート2013」日本オンラインゲーム協会）。さらに、スマートフォン広告市場につきましても、平成24年度の市場規模は856億円に対して、平成25年度は1,156億円、その先も毎年2～3割増で伸長すると予測されております（出所：「スマートフォン広告市場規模の推移」株式会社シード・プランニング）。

このような市場環境の下、当第3四半期連結累計期間において、当社グループは引き続きソーシャルゲーム事業において安定的な収益体制の確立、広告事業及びコンテンツ事業においては、スマートフォン向けサービスの売上拡大に注力して参りました。

売上高に関しては、ソーシャルゲーム事業において、既存タイトルの売上高が徐々に減少する一方、新たに2タイトルの運営を開始することで売上高の底上げに取り組んで参りました。また、広告事業においては、スマートフォン向けアドネットワークの売上高が大きく伸長し、全社の売上高増加に貢献しております。

利益面に関しては、売上高の増加にともなう売上総利益の増加に加え、広告費及び人件費等のコストを一定程度抑制しているため、結果として、業績予想を上回る利益を上げることが出来ました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期比では減少となっているものの、本日付「業績予想と実績の差異に関するお知らせ」で開示させて頂いたとおり、売上高、利益面ともに業績予想を上回り、売上高2,573,305千円（前年同期比10.6%減）、営業利益20,316千円（前年同期比91.2%減）、経常利益30,943千円（前年同期比86.4%減）、四半期純利益21,382千円（前年同期比89.0%減）となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

(ソーシャルゲーム事業)

ソーシャルゲーム事業につきましては、平成25年3月に配信を開始したmobage版「王様ゲーム - 共闘 - 」を平成25年5月よりmixi向けにも提供を開始し、また、当社のヒットタイトルである「天空のレギオン」においてサービス開始1周年を記念したイベントを実施するなど、ユーザーの満足度向上と売上増加に努めて参りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,312,785千円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は61,109千円（前年同期比67.5%減）となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、前四半期と同様にスマートフォン向け電子書籍に注力しておりますが、携帯電話利用者のスマートフォンシフトが進みフィーチャーフォン向けコンテンツ市場が引き続き縮小しているため、セグメントとしての売上は減少傾向になっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は571,722千円（前年同期比47.6%減）、セグメント利益は66,620千円（前年同期比63.0%減）となりました。

(広告事業)

広告事業につきましては、当社が注力しておりますスマートフォン向けアドネットワークにおいて、広告主のニーズが引き続き高まっており、売上は順調に拡大しました。その結果、広告事業の平成25年6月度のセグメント売上が当社としては初めて月商1億円を突破しております。

一方、海外事業につきましては、東南アジア地域を中心に新規事業開発を推進して参りましたが、当四半期において大きく収益貢献する事業の創出には至っておりません。

以上の結果、当セグメントの売上高は692,973千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は72,137千円（前年同期比116.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が111,544千円、仕掛品が29,415千円増加したものの、受取手形及び売掛金が75,421千円、その他の流動資産が29,340千円、のれんが104,734千円、敷金及び保証金が20,752千円減少したこと等により前期末に比べて97,900千円減少し、1,876,992千円となりました。

負債については、短期借入金が19,500千円増加したものの、買掛金が10,186千円、1年内返済予定を含む長期借入金37,329千円、その他の流動負債が61,385千円、事務所移転費用引当金が23,172千円減少したこと等により前期末に比べて119,472千円減少し、360,433千円となりました。

純資産については、四半期純利益21,382千円の計上により、前期末に比べて21,571千円増加し、1,516,558千円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

(注) 平成24年11月14日付取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。これにより、発行可能株式総数は16,800,000株増加し、17,000,000株となっております。

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,370,900	4,370,900	東京証券取引所 (マザーズ)	平成25年4月1日より単元株制度を採用しており、1単元の株式数は100株であります。
計	4,370,900	4,370,900	-	-

(注) 1. 平成24年11月14日付取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。これにより、発行済株式数は4,327,191株増加し、4,370,900株となっております。

2. 「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年4月1日 (注)	4,327,191	4,370,900	-	563,900	-	148,821

(注) 平成24年11月14日付取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 43,709	43,709	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	43,709	-	-
総株主の議決権	-	43,709	-

(注)平成25年4月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割をしております。なお、上記は当該分割前の株式数にて記載しております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	729,242	840,787
受取手形及び売掛金	555,649	480,228
仕掛品	-	29,415
貯蔵品	1,036	1,799
その他	59,713	30,372
貸倒引当金	13,353	13,353
流動資産合計	1,332,289	1,369,250
固定資産		
有形固定資産	32,172	26,099
無形固定資産		
のれん	514,429	409,695
その他	3,961	3,014
無形固定資産合計	518,390	412,709
投資その他の資産		
敷金及び保証金	89,685	68,932
その他	2,354	0
投資その他の資産合計	92,040	68,932
固定資産合計	642,603	507,741
資産合計	1,974,892	1,876,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,875	180,689
短期借入金	-	19,500
1年内返済予定の長期借入金	10,375	-
未払法人税等	7,066	12,024
賞与引当金	28,258	18,501
ポイント引当金	9,320	7,528
事務所移転費用引当金	23,172	-
その他	182,836	121,450
流動負債合計	451,905	359,695
固定負債		
長期借入金	26,954	-
その他	1,045	738
固定負債合計	27,999	738
負債合計	479,905	360,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,164,474	1,116,770
利益剰余金	185,693	164,310
自己株式	47,704	-
株主資本合計	1,494,976	1,516,359
新株予約権	9	198
純資産合計	1,494,986	1,516,558
負債純資産合計	1,974,892	1,876,992

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	2,877,823	2,573,305
売上原価	1,679,759	1,560,799
売上総利益	1,198,063	1,012,506
販売費及び一般管理費	967,728	992,189
営業利益	230,335	20,316
営業外収益		
受取利息	213	80
受取配当金	170	33
違約金収入	1,889	-
助成金収入	4,354	11,261
その他	2,210	2,517
営業外収益合計	8,838	13,892
営業外費用		
支払利息	216	279
株式上場関連費用	2,393	2,948
有限責任事業組合整理損	5,031	-
支払手数料	2,400	-
その他	964	37
営業外費用合計	11,006	3,265
経常利益	228,167	30,943
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,325	-
特別利益合計	5,325	-
特別損失		
役員退職慰労金	5,000	-
特別損失合計	5,000	-
税金等調整前四半期純利益	228,493	30,943
法人税、住民税及び事業税	34,821	9,560
法人税等合計	34,821	9,560
少数株主損益調整前四半期純利益	193,672	21,382
少数株主利益	-	-
四半期純利益	193,672	21,382

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	193,672	21,382
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	193,672	21,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,672	21,382
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
給料手当	275,805千円	337,704千円
広告宣伝費	210,432	93,953
のれん償却額	67,863	105,734
賞与引当金繰入額	36,120	50,023
貸倒引当金繰入額	12,329	77
減価償却費	6,233	5,242

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	11,621千円	7,285千円
のれん償却額	67,863	105,734

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年10月1日付けでエフルート株式会社と合併しました。

この結果、第1四半期連結会計期間において資本剰余金が541,269千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,164,474千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年12月21日付で、自己株式の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式と資本剰余金がともに47,704千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル ゲーム事業	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,138,488	1,091,127	648,206	2,877,823	-	2,877,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	12,586	12,586	12,586	-
計	1,138,488	1,091,127	660,793	2,890,409	12,586	2,877,823
セグメント利益	188,061	180,265	33,298	401,624	171,289	230,335

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	401,624
のれんの償却額	46,113
全社費用(注)	125,175
四半期連結損益計算書の営業利益	230,335

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソーシャルゲーム事業において、株式会社インディソフトウェアの取得に伴い、当第3四半期連結累計期間にのれんが199,723千円発生しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル ゲーム事業	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,312,785	571,722	688,797	2,573,305	-	2,573,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	4,175	4,175	4,175	-
計	1,312,785	571,722	692,973	2,577,481	4,175	2,573,305
セグメント利益	61,109	66,620	72,137	199,867	179,550	20,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	199,867
のれんの償却額	46,113
全社費用（注）	133,437
四半期連結損益計算書の営業利益	20,316

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成23年10月1日 至平成24年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年6月30日）
(1) 1株当たり四半期純利益金額	43円32銭	4円89銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	193,672	21,382
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	193,672	21,382
普通株式の期中平均株式数（株）	4,470,900	4,370,900
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	43円21銭	4円87銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益調整額（千円）	-	-
普通株式増加数（株）	11,700	21,739
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

（注）当社は、平成25年4月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

アクセルマーク株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 洋一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石井 広幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアクセルマーク株式会社の平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アクセルマーク株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。